

1

はじめに

2009年2月に日本緩和医療学会から「がん補完代替医療ガイドライン(第1版)」(Web版)が発行され、すでに7年以上が経過した。本ガイドラインは、厚生労働省がん研究助成金「我が国におけるがんの代替療法に関する研究」班および「がんの代替療法の科学的検証と臨床応用に関する研究」班による、「緩和医療ガイドライン作成委員会補完代替医療ガイドライン作業部会」が作成し、日本緩和医療学会理事会が2008年10月に承認したものである。なお、これは学会会員向けの出版物として公表されたものであり、現在は資料として日本緩和医療学会ホームページに掲載されている。

本ガイドラインは、当初、3~5年後をめどに、その見直しの必要性につき検討する予定であった。改訂にあたって、この分野は施術や療法によって差はあるが、なかなか科学的根拠となる報告が少なく、またその多くが保険外診療であり、いわゆる診療ガイドラインとしての改訂が可能かどうかという議論もなされた。しかし、がん医療の現場で以前にも増して補完代替療法が用いられているのは事実であり、本学会としてもこの分野に何らかの見解を示すことが必要だと思われた。

今回、次項の作成経過で述べられているように、通常の診療ガイドラインにあるような「推奨度」を設定せず、新たに「クリニカル・エビデンス」として、がん診療現場の医療従事者の助けになるような形式にまとめ、出版することとした。

(太田恵一朗)